



第2回協議会の開催

令和6年12月2日（月）に、箱崎公民館にて第2回通学区域協議会を開催しました。

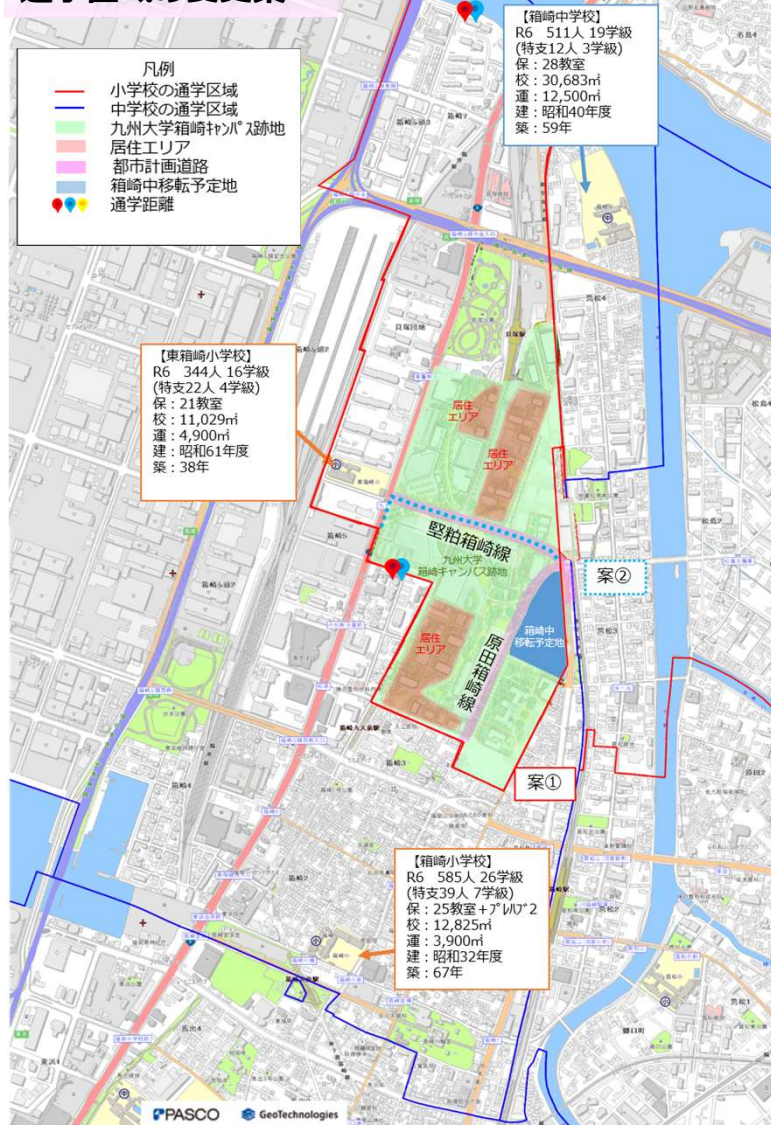
東箱崎小学校の通学区域内にある九州大学箱崎キャンパス跡地での住宅開発により、東箱崎小学校の児童数が段階的に増加し、最大で950人程度となる見込みです。

九州大学箱崎キャンパス跡地の開発の影響により、東箱崎小が過大規模校化することが見込まれることから、学校規模適正化の実施方針に基づき、課題の解消に向けて取り組み手法を検討しました。

今回は、第1回協議会において頂いたご意見を踏まえ、箱崎小学校の教育環境の確保を図りつつ、東箱崎小学校の過大規模校化への対応として、通学区域の変更について、事務局から以下の2案を提案しました。

		案①	案②
		従来の通学区域を 変更しない場合	都市計画道路の 堅粕箱崎線より南側 を箱崎小学校の通学 区域に変更する場合
東箱崎小	R10 児童数	350人程度 + 特支学級	
箱崎小		520人程度 + 特支学級	
住宅開発による児童数 増見込（R20頃想定）		東箱崎小に+600人	東箱崎小に+300人 箱崎小に+300人
東箱崎小	児童数	950人程度 + 特支学級	650人程度 + 特支学級
	学級数	概ね30学級 + 特支学級	概ね24学級 + 特支学級
	通学距離 （一番遠い居住地 から学校まで）	1.6km （箱崎7丁目）	1.6km （箱崎7丁目）
	増築 建替等	教室数不足分を増築	教室改造等
箱崎小	児童数	520人程度 + 特支学級	820人程度 + 特支学級
	学級数	概ね18学級 + 特支学級	概ね24学級 + 特支学級
	通学距離 （一番遠い居住地 から学校まで）	1.2km （箱崎6丁目）	1.2km （箱崎6丁目）
	増築 建替等	現在と同規模以下 の校舎建替	学級数増に対応した 規模の校舎建替
評価		東箱崎小の教室不足 への対応が必要となる。	平準化により、学校 規模の適正化が図ら れる。

通学区域の変更案



案に対する協議会での主な意見

- 一番大事なことは、子どもの教育環境であり、学校規模の適正化を考えると案②が妥当。
- 都市計画道路が整備されるので、そこを目安に通学区域を設定する案②が良い。
- 案②が妥当だが、箱崎小学校のグラウンドが狭いので、今後校舎を建て替える際は、高層化なども考慮して建替えて欲しい。
- 国道3号線に通学路ができると思うので、安全性に配慮して欲しい。
- 東箱崎小の前の横断歩道を安全に横断できるよう、対応が必要になってくると思う。

協議の結果、案②のとおり通学区域の変更を行う方向で進めていくこととなりました。

今後の進め方、スケジュール

- 次回の協議会では、皆様から頂いたご意見等を踏まえ、通学区域の決定を行います。
- 第1回…8月27日（委員長選出、課題、取り組み手法説明 等）
- 第2回…12月2日（取り組み手法の検討）
- 第3回…2月下旬（通学区域の決定）

お問い合わせ先

東箱崎小学校・箱崎小学校通学区域協議会事務局
（教育委員会学校計画課）
TEL：092-711-4252
FAX：092-733-5539
E-mail：gakkokeikaku.BES@city.fukuoka.lg.jp